

10 代アーティスト限定の夏フェス
『マイナビ 閃光ライオット 2026 produced by SCHOOL OF LOCK!』
グランプリは北海道発・オルタナティブバンド「札幌某所」!
櫻坂 46 山崎天が開会宣言!
ハンブレッダーズがライブアクト!

この模様は 8 月 12 日(水)、13 日(木)の『SCHOOL OF LOCK!』でオンエア!

TOKYO FMをはじめとするJFN全国38局で放送中の10代向け人気番組『SCHOOL OF LOCK!』とソニーミュージックでは、10代アーティスト限定の音楽フェス『マイナビ 閃光ライオット2026 produced by SCHOOL OF LOCK!』を、2026年8月6日(木)Zepp DiverCity(TOKYO)にて開催しました。

一次審査から三次審査を勝ち上がった9組のアーティストが熱いパフォーマンスを披露。審査の結果、グランプリは、北海道発のオルタナティブバンド「札幌某所」、マイナビ Yell Song 賞は「『暁月の光』／PrizzM DoLL(兵庫県)」、スペシャルサポーター特別賞は愛知県在住・シンガーソングライター「NENE」が受賞しました。

この模様は、8 月 12 日(水)、13 日(木)の『SCHOOL OF LOCK!』(22:00～23:55 全国 38 局)で放送致します。



▲マイナビ 閃光ライオット 2026 グランプリ「札幌某所」

グランプリに輝いた「札幌某所」は、北海道で結成され、札幌を拠点に活動中のオルタナティブバンド。昨年開催された『マイナビ 閃光ライオット 2025』では3次審査まで進出するも惜しくもファイナルステージ出場はならず、今回、“最後の挑戦”として応募。見事グランプリに輝き、リベンジを果たしました。グランプリ受賞の感想を「もうこれできっぱり悔いなく、閃光ライオットとはお別れできるなと思っていたんですが、音楽は簡単に辞められないところまできちゃった。」「閃光ライオットのおかげなのかせいなのかかわからないですが、こうして同世代のすごくカッコいいバンドたちと一緒にこの舞台に立てたということが本当に光栄ですし、ここまで来られなかった人たちも、来年はきっとここにいないんじゃないかなって思います。」と語り、グランプリのウイニングライブでは「最前線」を披露しました。

『頑張る人の背中を押してくれる曲』に贈られるマイナビ Yell Song 賞は、兵庫県の4ピースガールズロックバンド・PrizzM DoLLの楽曲『暁月の光』が受賞。スペシャルサポーター特別賞は、高校1年生のシンガーソングライター・NENE。スペシャルサポーターの KANA-BOON・谷口鮎からは「2 曲目で止まってしまうたりもしたが、そこで諦めずに立て直し、3 曲目でその出来事へのアンサーかのように『大丈夫』という(歌詞を伝えてくれ)、素晴らしい流れでした。」と選定理由が語られました。

今年復活したコピーダンス部門では、事前の審査を経てグランプリを選出。見事グランプリに選ばれた E' sekai が、この日パフォーマンスを披露しました。「ワンダーランド」「はじめてのチュウ」を演奏し、ダンスも交

●お問い合わせ:TOKYO FM 総合プロデュース局 業務管理部 広報(担当:根本、丹治) tel.03-3221-0080

2026 年 8 月 7 日

えた圧巻のパフォーマンスで観客を魅了。その後の表彰式では、グランプリ受賞の感想を「こんな大きなステージで素敵な楽曲をカバーさせていただいて、みなさんも盛り上がってくれて、すごく楽しいステージでした。本当にありがとうございました。」と語りました。スペシャルサポーターの高塚大夢は、「コピーバンと言えども、すごく E' sekai の色が出ていたし、ダンスも揃っていて、そこもすごく良いポイントだったと思います。普段はオリジナル曲を中心に活動しているということなので、コピーのみならず、オリジナル曲も聴いてみたいと思える演奏でした。」とコメントしました。



▲マイナビ Yell Song 賞を「暁月の光」で受賞した PrizzM DoLL



▲スペシャルサポーター特別賞「NENE」

◆櫻坂 46 山崎天がギターで開会宣言！

山崎天「同世代としてもっともっと頑張ろうと思えたし、活力をもらいました」

イベントの開演とともに登場したのは、今年の応援アンバサダーである櫻坂 46 の山崎天。「みなさんは、やりたいこと、ありますか？“自分にはできない”って、諦めた夢はありますか？今日、みなさんは、お客さんじゃありません。ここにいる、全員が主人公です。これからステージに立つミュージシャンのライブを見て、何を受け取って、どんなことを思っこのライブハウスを出るか。それが閃光ライオットです。」「声を聞かせてください！みなさん、準備はできていますか？あなたが生きている証を、この夏に刻み込む準備はできていますか？」という呼びかけとともに、山崎がステージでギターをかき鳴らし、イベントは幕を開けました。

山崎は、ファイナリストたちのライブを観て「応援アンバサダーという立場でしたが、私自身が応援されているような、背中を押されるようなライブでした。私も同世代としてもっともっと頑張ろうと思えたし、活力をもらいました。みなさんが主人公の、本当に素晴らしい熱いステージでした。今日から何かが変わるかもしれないし、そんな日にここに立てたことが本当に幸せです。」と、感想を述べました。



▲開会宣言をつとめた櫻坂 46 山崎天



◆ライブゲストはハンブレッダーズ！「悲願の舞台です」

ゲストライブアクトはハンブレッダーズが担当。「BGMになるなよ」「ギター」を続けて披露すると、会場のボルテージは一気に跳ね上がります。続けて「DAY DREAM BEAT」、「常識の範疇」も披露。MCでムツムロ アキラは、「閃光ライオットといえば10代のバンドの登竜門。ハンブレッダーズも夢に一步近づくため、弾む胸をおさえながら音源を送り、見事一次審査で落とされました(笑)。そういう意味では悲願の舞台です。」と語りました。

会場全体がすさまじい熱量と一体感に包まれる中、「⚡」を披露し、熱気は最高潮に。最後の一曲には「キッズリターン！」を披露し、大きな歓声と拍手に包まれながらステージは終了しました。



▲ハンブレッダーズ

◆スペシャルサポーターの INI 高塚大夢、コレサワ、グランジ 遠山大輔、KANA-BOON 谷口鮪から熱いメッセージ！

[スペシャルサポーターコメント]

★高塚大夢(INI)

「いち閃光ライオットファンとして、そしてスペシャルサポーターとしてステージを観させていただきましたが、本当に一組一組のバンドにメッセージやドラマがあって、閃光ライオットの良さを、身をもって感じられました。本当に、賞で決められないような魅力がどのバンドにも詰まっていたので、みなさんの今後の活躍の姿を楽しみにしています。」

★コレサワ

「自分が10代の頃に初めてステージに立った時のことを思い出して、私も初心を忘れずに頑張ろうと思いました。すごく元気をもらいました。本当に参加できて嬉しかったです。」

★遠山大輔(グランジ)

「まずは札幌某所、本当におめでとうございます。なんだけれど、呼ばれなかったアーティストのみんなの顔を、直視できないです。いろんな思いがあるから。自分の名前が呼ばれなかったと。だけど、その場で生まれる音をやっぱり僕は聴きたいと、今日も強く思ったんです。今思っていることをすぐに言葉に、メロディにはできないかもしれないけど、時間が経ってもいいし、落ち着いたら、向き合ってその音楽を聴きたい。そしてその場所はきっとまたここなので。来年もまた閃光ライオットがあってほしいと、僕は心から強く思っています。」

★谷口鮪(KANA-BOON)

「僕も閃光ライオット世代ではあるので、当時からいろんな仲間たちを見ている。グランプリは1組決まりましたが、賞を取れなくても音楽を続けて、今僕たちと同じ土俵で一緒にやっている仲間たちもいます。だから、もし今日好きなアーティストに出会えたのなら、これからもどうぞ応援をよろしくお願いします。音楽の未来をよろしくお願いします！」



▲アンジー校長



▲たんぼ教頭

最後に、アンジー校長が黒板に”存在証明”とメッセージを記し、「閃光ライオットは、それぞれの人生の存在証明が音になってみんなに届いています。今年応募してくれた全アーティスト一人ひとり、どのパートも関係なく、この閃光ライオットに関わってくれたすべてのアーティストの存在証明が、音色に変わるのが閃光ライオットです。生きることがしんどくなったり、日々が辛くなったり、逆も然り、毎日楽しかったり、いっぱい笑ったこと、なかなか言葉にするのって怖くて、なかなか人に伝えるのって怖いんです。でも、閃光ライオットに応募してくれたアーティストたち、音楽を愛してる生徒のみんなは、きっとその一音一音、言葉にできない思い、自分はここにいてんだっていう叫びを、音楽に委ねて存在証明してるんじゃないかなって思ったんです。閃光ライオットは、もちろんグランプリが決まる、そういうものではあるんだけど、紛れもなく鳴らしてくれた音、音楽が好きという思い、ここに立っているみんな、ここに来てくれているみんな、そして配信を見てくれているみんな、今日はここに来られなかったけど音楽を愛してやまない、閃光ライオットにエールを送ってくれたみんな。そのすべての存在証明が、今日このステージで放たれました。だからこそ、みんなも心の中に抱えているやりたいこととか言い出せない思いとか、苦しいこととかしんどいこととか、言葉にしなくていいです。その代わりきっと、閃光アーティスト、そして音楽を愛しているすべての人たち、音楽を奏でられるすべての人たちがきっとあなたの存在証明をしてくれます。でも今日閃光ライオットを見て、少しでも何か踏み出したい、それが音楽じゃなくても何か自分の思いを表現したい、届けたい、やりたいことを形にしたいと思ってくれた生徒がいたら、どんな形でもいい。「私はここにいてよ」「僕はここにいてよ」って存在証明してください。みんなが生きた証を刻んでほしいと、そう強く思いました。」と、生徒たちへ熱いメッセージを贈りました。鳴り止まない拍手と歓声の中、『マイナビ 閃光ライオット 2026』は幕を閉じました。

『マイナビ 閃光ライオット2026 produced by SCHOOL OF LOCK!』・審査結果

<グランプリ> 札幌某所 (北海道)

滝口開斗/19 歳/男性/Gt.Vo

石川隼士/19 歳/男性/Gt.

中塚俊輝/19 歳/男性/Dr. サポートメンバー

葛西トシキ/19 歳/男性/Ba. サポートメンバー

※応募時(2026 年 4 月 3 日時点)の年齢

《セットリスト》

1. Don't remember me
2. 最前線
3. 札幌

<マイナビ Yell Song賞> 暁月の光/PrizzM DoLL

<スペシャルサポーター特別賞> NENE (兵庫県)

高校1年生シンガーソングライター

《セットリスト》

1. 14age
2. DEMOSA...
3. buzzer beat

【マイナビ 閃光ライオット 2026 produced by SCHOOL OF LOCK! 実施概要】

- 『マイナビ 閃光ライオット2026 produced by SCHOOL OF LOCK!』
- 開催日: 2026年8月6日(木) 12時30分開場 / 13時15分 開演
- 会場: Zepp DiverCity (TOKYO) 入場無料 / オンライン生配信あり
- 来場者数: 717人
- 出演者 <審査を勝ち上がった9組のアーティスト>
伽乱堂(埼玉県)、札幌某所(北海道)、三節棍(東京都)、白壁ガールズ(愛知県)
NENE(愛知県)、Pitch Blue(兵庫県)、PrizzM DoLL(兵庫県)、Head Hunt(東京都)、
BOTTON(山梨県)
- コピーバンステージ グランプリ E' sekai
- 応援アンバサダー 山崎天(櫻坂46)
- ゲストライブアクト ハンブレッターズ
- スペシャルサポーター コレサワ、高塚大夢(INI)、谷口鮪(KANA-BOON)、遠山大輔(グランジ) ※五十音順
- 特別協賛: 株式会社マイナビ
- 協賛: JASRAC、みずほフィナンシャルグループ、日本工学院

- グランプリ: 優勝賞金100万円
- マイナビ Yell Song賞: マイナビよりオリジナルラジオCMでの楽曲使用とナレーション出演権 + 賞金50万円
- 副賞
- グランプリ受賞アーティストに、マイナビから「活動サポート資金」として賞金50万円
- JASRAC 日本音楽著作権協会から「創作活動支援」として賞金10万円

オーディション概要

レギュラーステージ

- 募集期間: 2026年2月16日(月)~4月3日(金)
- ・全国スタジオ審査 4月25日(土)~5月17日(日)
- ・3次ライブ審査 6月13日(土)、14日(日) 東京 20日(土) 大阪
- ・ファイナルライブ審査「マイナビ 閃光ライオット2026 produced by SCHOOL OF LOCK!」 8月6日(木)

コピーバンステージ

- 募集期間: 2026年2月16日(月)~4月3日(金)
- ・全国スタジオ審査 4月25日(土)~5月17日(日)
- ・3次ライブ審査 6月13日(土)、14日(日) 東京 20日(土) 大阪
- ・ファイナルライブ審査「マイナビ 閃光ライオット2026 produced by SCHOOL OF LOCK!」 8月6日(木)

詳細はこちら

- <オフィシャルサイト> <https://www.tfm.co.jp/lock/riot>
- <X> (@SenkouRiot) <https://twitter.com/SenkouRiot>
- <Instagram> (senkouriot) <https://www.instagram.com/senkouriot/>
- <TikTok> (SenkouRiot) <https://www.tiktok.com/@senkouriot>
- <YouTube> SCHOOL OF LOCK! YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/@SCHOOLOFLOCK69>

【番組「SCHOOL OF LOCK!」とは】

“全国の蒼き若者たちの未来の鍵(LOCK)を握るもうひとつの学校!”をコンセプトに、パーソナリティのアンジー校長・たんぼ教頭ほか、人気アーティストやタレントをレギュラー講師陣に迎え、TOKYO FM をはじめとするJFN38局ネットで放送中のラジオ番組です。2005年10月の番組開始以来、ラジオとWEB、時にイベントや出版も連動させた内容でネット世代の若者を中心に支持を得ている人気番組です。

◇放送日時: 毎週月曜日~木曜日 22:00~23:55 / 毎週金曜日 22:00~22:55

◇放送局: TOKYO FM をはじめとする JFN38 局ネット ※一部ローカル

◇ホームページ: <http://www.tfm.co.jp/lock>

